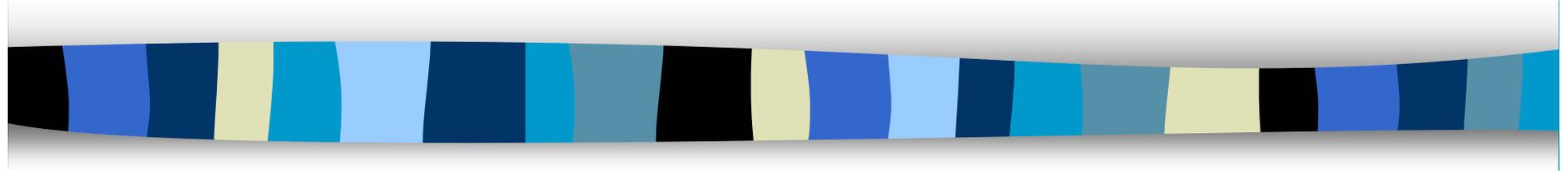


# フィールド体験を重視した 環境学習プログラムの作成と実践



宮城教育大学・環境教育実践研究センター  
溝田 浩二

ありあけ

VIEW OF  
RELAXATION  
ARIAKE TOWN





北海道大学

HOKKAIDO UNIVERSITY



# 昆虫は意外と面白い！



# 2001年に宮城教育大学附属環境教育実践研究センターへ



# 私の普段の研究・教育活動

- 青葉山をフィールドとして、「調査・研究」「教育・普及」「環境保全」をドッキングさせた活動を行っている  
(例: 青葉山のチョウ相)

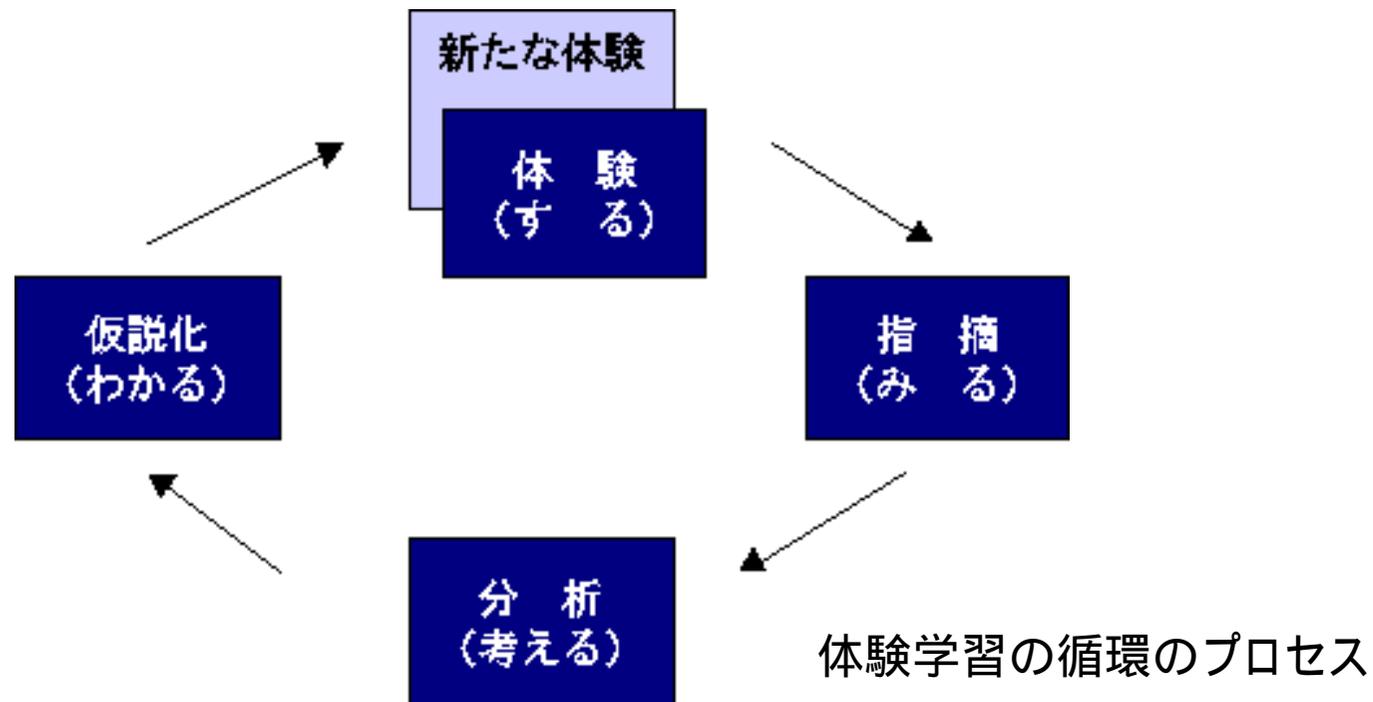


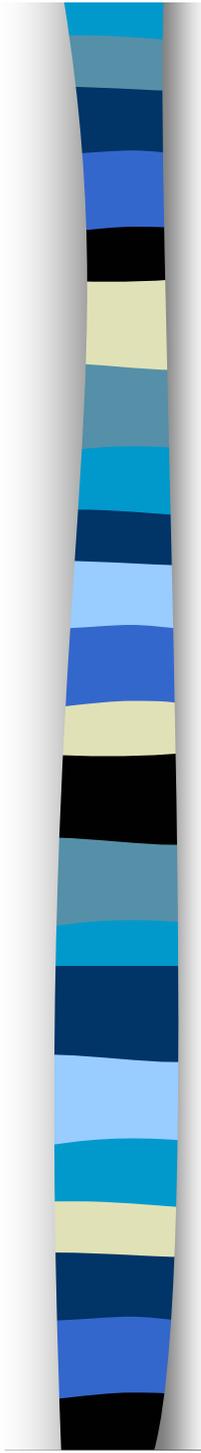
# フレンドシップ事業 ( = 野外版教育実習 )



# なぜ体験活動を重視するのか？

- ・聞くことは「忘れる」こと
- ・見て聞くことは「記憶する」こと
- ・試みることは「理解する」こと

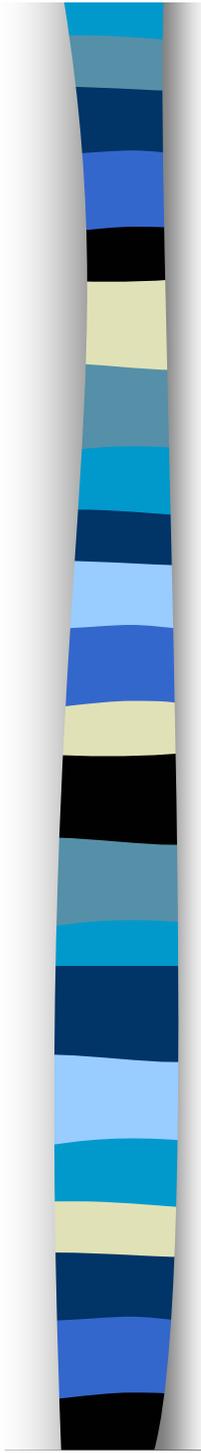




# 指導者・教師側に求められる 7つの”こだわり”

- テーマにこだわる
- フィールドにこだわる
- パンフレットにこだわる
- 道具にこだわる
- 季節・天候にこだわる
- 人数にこだわる
- 安全にこだわる

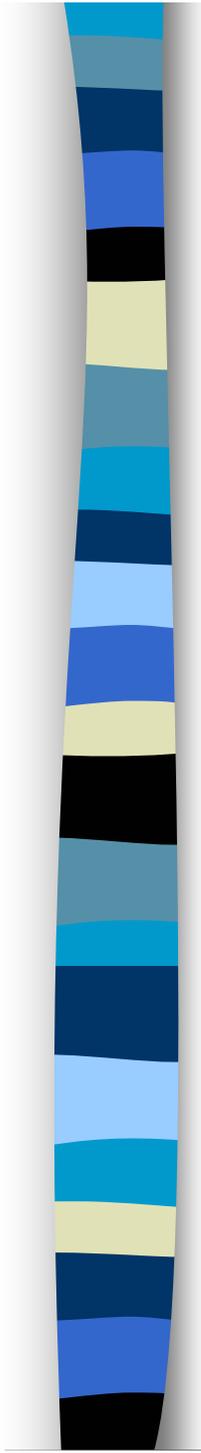
自分自身が、他の誰よりも面白がること！



# 昆虫を題材とすることの利点

- どこにでも、たくさん、いる
- 環境との関わりが深い
- “実物”に触れるのがカンタン

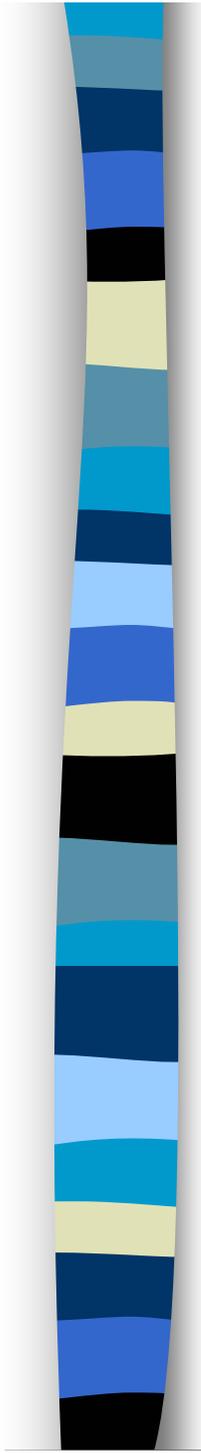
昆虫は、子どもを自然に誘う  
魅力的な「ナビゲーター」



# ところが・・・現実には？

- どこにでも、たくさん、いる  
名前調べが大変・・・
- 環境との関わりが深い  
植物とかも覚えないと・・・
- “実物”に触れるのがカンタン  
ウッ、気持ち悪い・・・

昆虫って、大変だし、難しいよね



# その原因は…？

昆虫は、名前調べが大変  
分類する能力がない

昆虫は、覚えることが多すぎる  
情報が整理されていない

昆虫は、気持ち悪い  
幼少時の教育に問題あり？

昆虫の検索(名前調べ)データベースを  
作ろう！